

米国におけるENBの生産能力増強について  
～安定供給と世界No.1メーカーの地位確立を目指して～

記者各位

当社(社長:西尾進路)は、このたび、米国(テキサス州ヒューストン)において、自動車用合成ゴムなどに使用されるENBの生産能力を増強し、本年7月21日(土)(現地時間)より商業運転を開始しましたのでお知らせいたします。

当社は、1977年7月に、三洋化成工業株式会社(社長:家永昌明 以下「三洋化成」)との50%:50%出資の合併事業として株式会社サン・ペトロケミカルを設立し、1978年から茨城県鹿島郡(現神栖市)においてENBの生産(年間生産能力:2万トン)を開始しました。その後2000年10月には、当社および三洋化成の米国100%子会社が同様の合併事業形態によりサンライズケミカルを設立し、2003年5月から米国テキサス州ヒューストンで、ENB第2製造装置(年間生産能力:2万トン)による生産を開始しております。

今回、第2製造装置と同じ敷地内に、第3製造装置(年間生産能力:2万トン)を新設し、日米合計で年間6万トンの生産体制に増強いたしました。

なお、3基全ての装置に当社独自技術によるプロセスを採用しております。

ENBは、主に自動車のワイパー、ラジエター、窓枠などに使用される合成ゴム(EPDM※2)の製造には欠かせない成分であり、今後、アジアを中心とした自動車生産台数の増加に伴うEPDMの需要増を背景に、ENBの需要も堅調に伸びていくと見込まれています。

今回のENB装置増強により、ENBの供給体制を磐石なものにするとともに、今後も、世界No.1のENBメーカーとしての地位を揺るぎないものにしてまいります。

※1 Ethylidene Norbornene :エチリデン・ノルボルネン  
EPDMの製造に欠かせない成分。

※2 Ethylene Propylene Diene Methylene linkage:エチレン・プロピレン・ジエン・メチレンリンケージ  
耐熱性、耐候性に優れた合成ゴムで、自動車用、工業用、建築用に広く使用されている。

以上